

## APIAP2013 Busan 若手旅費支援プログラム

支援を受ける本人が、以下の書類を、IAP 日本支部宛に郵送する。

1. 申請書
2. 参加証のコピー
3. 抄録のコピー（プログラムブックから）
4. 共同演者である IAP 日本支部会員の推薦状（下記書式参照）
5. 学生証・大学院生証・レジデントであることの証明書のコピー
6. 航空便（往復）の半券のコピー（E-ticket の場合は、搭乗証明書）
7. 感想文「APIAP2013 Busan に参加して」（200-400 字）

※一部を News Bulletin に掲載する場合がございます

〆切：2013 年 9 月 30 日（月）必着

送り先：IAP 日本支部事務局

〒135-8550

東京都江東区有明 3-8-31

(公財)がん研究会がん研究所病理部内

Tel: 03-3570-0559

Fax: 03-3570-0558

E-mail: [jdiap@jfcr.or.jp](mailto:jdiap@jfcr.or.jp)

## 若手旅費支援プログラム申請書

2013年9月 日

IAP 日本支部 会長 殿

私は、Asia-Pacific IAP 2013 (Busan) で、発表を行いました。必要書類をそえて若手旅費支援プログラムに応募いたします。

氏名：

所属：

職名：右から選択（学部学生、大学院生、初期研修医、後期研修医）

振込先の詳細：

銀行名

支店名

口座の種類（当座 or 普通）

口座番号

名義人名（ふりがな）

## 推薦状

以下の者は APIAP2013 Busan で演題を筆頭で発表いたしました。今回の研究発表が、病理学の発展に寄与し、本人においても病理学の研鑽を積む上で有益であったと考えられますので、IAP 日本支部の旅費援助プログラムに応募することを推薦いたします。

発表者氏名：

同所属：

職名：右から選択（学部学生、大学院生、初期研修医、後期研修医）

e-mail アドレス：

推薦者氏名：

同所属：

役職：

所属先住所：

電話番号：

e-mail アドレス：